

小中学校へ無農薬米を贈呈しました

山都町有機農業協会は、県農業試験場跡地で生産された無農薬米を12月と1月に町内小中学校へ無償で配布し、お米を食べて元気に育ってほしいという思いを伝えました。お米を受け取った生徒は、「おいしい給食を食べられることに感謝しながら部活などを頑張りたい」と話していました。

町では、有機農業の推進及び食育の一環として学校給食へ有機米を導入しています。



贈呈式(矢部中学校)

ひまわりの種リレー式が行われました

1月11日、矢部小学校と大牟田市立みなと小学校の4年生による、ひまわりの種リレー式が開催されました。

この企画は、みなと小学校が2022年11月に「人権の花」運動として、ひまわりの種(10粒)付きの黄色い風船を飛ばされ、その風船が山都町の九州中央自動車道の工事現場で見つかったことがきっかけでした。種はその後、熊本河川国道事務所で1度育て種を約50粒程に増やし収穫し、今回、矢部小学校にその種を寄贈されました。

両校はオンラインで交流会を開催し、人権の花運動や各校独自の取り組み、そして自分たちが住む市町の魅力について発表し合い、交流しました。

このひまわりの種は、道の駅通潤橋に植え、交流のひまわりとして開花を待つ予定です。



オンライン交流会の様子

日向往還道標を移設しました

下馬尾地区にある日向往還道標を移設しました。日向往還は肥後四街道の一つで、これらの道標は平成16年から平成18年にかけて、合計約100本が日向往還の各所に設置されてきました。来月3月16日、17日には日向往還歴史ウォークが開催される予定です。道標の移設について日向往還顕彰会の石山信次郎さんは「皆さんに見やすい位置に移動できた。3月のイベントまでに間に合っよかった。」と語られました。

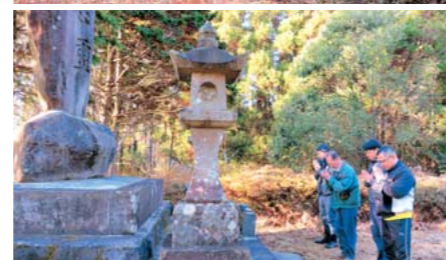


戦没者慰霊碑のボランティア清掃活動

12月27日、町内3か所(水ノ田尾・南田・入佐)にある戦没者慰霊碑の清掃活動を実施されました。

この活動は毎年、ゴールデンウィークとお盆、年末の年3回行われております。現職自衛官である藤本昌大さん(南田出身)が平成22年から南田の慰霊碑の清掃を行うようになったことがきっかけで、平成29年からは本町出身の現職自衛官とその家族で構成された「チーム通潤魂」で活動し、令和5年からは自衛官OBも参加して、現在の活動に至りました。

藤本さんは「過疎が進み墓地の維持管理も難しくなっていく中で、自分たちが少しでも地元に貢献できることをしていこうという思いで始めました」と思いを語られました。



高齢者叙勲 ～旭日単光章～ 受章

地方自治の育成発展に功労のあった以下の方々に対し、高齢者叙勲「旭日単光章」が授与されました。

○矢仁田繁光さん(下名連石):令和5年11月1日発令

12月19日に町長からご本人へ伝達されました。

矢仁田さんは、矢部町議会議員として昭和56年から平成9年まで4期16年に渡り在職され、建設常任委員会委員長や副議長を歴任されました。また、その後も公民館支館長や保護司を務められるなど長年にわたり町の発展に大きく貢献されました。

○本田忠次さん(下市):令和5年12月1日発令

1月19日に楢林副町長からご家族へ伝達されました。

本田さんは、矢部町議会議員として平成9年から平成15年まで、山都町議会議員として平成17年から平成25年まで在職されました。矢部町議会において総務常任委員会委員長を、山都町議会において建設常任委員会副委員長や厚生常任委員会副委員長を歴任されるなど町の発展に大きく貢献されました。



右側が矢仁田繁光さん



本田忠次さん

熊本県家庭教育支援功労者表彰を受賞されました

蘇陽地区を中心に活動されている「地域の学習教室」が熊本県家庭教育支援功労者表彰を受賞しました。この教室は、ひとり親家庭の子どもたちの学習支援を目的に、令和元年度から毎週月曜・木曜の週2回で始まり、現在は、ひとり親家庭に限らず小中学生合わせて31名の生徒が利用しています。

代表の後藤利恵子さん(花上)は、「宿題や勉強で、普段遠慮して聞けないことでも気軽に聞ける環境を心がけて、わからないままにならないよう支援しています。子どもたちが自分の夢や目標に向かって頑張れるよう今後も全力で支援していきます」と語られました。

「地域の学習教室」では、ボランティアの方を募集しています。興味のある方は、福祉課(☎72-1229)までご連絡ください。



左から後藤利恵子さん、田崎ひとみさん

環境省認定「環境教育・ESD実践動画100選」に選ばれました!

蘇陽小学校の環境に関する取り組みを紹介した動画が、「環境教育・ESD実践動画100選」に選ばれました。この動画は、学校が独自に作成し環境省へ応募したもので、その成果が評価されたものです。12月18日には、環境省九州地方環境事務所環境対策課の方々が来校し、子どもたちに認定書が授与されました。

※ESDとは…将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育む教育のこと

動画の中では、次のような学校の活動を紹介しています。

- たてわり班での花のお世話
- たてわり班での掃除活動
- 4S(整理・整頓・節電・節水)

右の2次元コードから動画を視聴することができます。(※視聴の際は、「九州」の地域を選択すると見つけやすいです。)



絵本「国宝 通潤橋 命の水道橋」の日本語・英語版が寄贈されました

1月12日、山都町地域創生アドバイザーの下田美鈴さん(犬飼)から絵本「国宝 通潤橋 命の水道橋」の日本語と英語の混合版が寄贈されました。この本は、12年前に作成された絵本「通潤橋 水が渡る橋」に英語訳を追加したもので、町内各小中学校、矢部高校、町立図書館本館、各分館に寄贈されました。下田さんは「『国宝 通潤橋』をいろんなところに発信したい、山都町の子どもたちにふるさとのことをもっと知ってもらいたいという思いから今回の改訂に至った」と語られました。

